

建設キャリアアップシステムの技能者情報に蓄積されていない期間について、分野参考様式第6-3の別紙経歴証明書にて誓約した就業日数（職長+班長）を記載する。

<建設キャリアアップシステムの技能者情報に必要な実務経験が蓄積されていない場合(分野参考様式第6－3号別紙経歴証明書)>

記載例

別紙

●●●●年 ●月 ●日

経歴証明書

出入国在留管理庁長官 殿

証明者

事業者名 ●●●●

役職名 ●●

氏名 ●●●●

建設キャリアアップシステム事業者 ID
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

下記に示す申請者の建設分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針に規定する2号特定技能外国人に求められる実務経験のうち、建設キャリアアップシステムに蓄積されていない就業日数については下記のとおりです。

記

(1) 申請者

氏名	●●●●
建設キャリアアップシステム技能者 ID	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
申請する業務区分に対応する職種	とび工
技能評価基準の呼称	とび

(2) 職長、班長としての就業日数

	就業期間	就業日数
①	●●●●年●月●日～●●●●年●月●日	300 日
②	●●●●年●月●日～●●●●年●月●日	100 日
③	●●●●年●月●日～●●●●年●月●日	30 日
合計		430 日

※必要に応じ行を追加すること。
※転職や離職などによって職長、班長として就労していない期間がある場合は、就労していた期間ごとに入力すること。

誓約欄
この証明事項に事実と相違がある場合には、在留資格が取り消されても異存の無いことを誓約いたします。

申請者氏名 ●●●●

経歴を証明する期間に所属していた事業者の情報を記載すること。

注意：転職による複数の会社に勤務した実務経験を合算した場合は、勤務先ごとにこの用紙を作成し提出すること

2号特定技能を申請する外国人の情報を記載すること。

能力評価基準のない職種の場合は記載不要

建設キャリアアップシステムの技能者情報に蓄積されていない期間について、就業日数（職長+班長）を記載すること。

2号特定技能を申請する外国人の氏名を記載すること。